

全国高等学校野球選手権沖縄大会のクラウドファンディング実施について

沖縄県高等学校野球連盟（会長・川畑三矢）は、この夏の沖縄大会開催費用を集めるため、クラウドファンディングを実施することにいたしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の取り組みが長期化する中、高校野球も厳しい状況に置かれています。選手たちが練習の成果を発揮できる舞台を続けていくために、ご支援をお願いいたします。

ご支援はクラウドファンディングサイト「A-port」の沖縄県高野連のページ（<https://a-port.asahi.com/projects/kouyaokinawa2021/>）から申し込んでいただけます。目標額は300万円で、1口1000円からご支援いただけます。ご支援いただいた方の氏名は、「A-port」に掲載させていただきます。また、5000円以上のご支援をいただいた方には、お礼状をお送りします。1000円、3000円のご支援にはメールでのお礼とさせていただきます。募集期間は6月30日から7月31日までです。

いただいたご支援は、決済手数料などの必要経費を除き、大会運営のために使わせていただきます。運営費を上回るご支援をいただいた場合や、感染拡大等で大会が開催できなくなった場合は、秋以降の公式戦の運営費に回すなど、すべて沖縄県の高校野球のために使わせていただきます。

昨夏は全国高等学校野球選手権大会が戦後初の中止を余儀なくされ、沖縄県高等学校野球連盟は独自に大会を開きました。コロナ禍の中、その後の公式戦も観客を制限した中で開催を続けています。高校野球の地方大会は、入場料収入を財源に運営しているため、沖縄県高野連の財政もこの1年間で大きく悪化しました。ベンチの消毒など感染防止策にかかる費用も膨らんでおり、今のままでは沖縄大会を継続していくことが難しくなってしまうのではないかと危機感すら抱いています。このクラウドファンディングを通じて、高校野球をご支援いただければ幸いです。